

（令和7-8年度研究会以降対象）

公益事業学会特別研究会の採択基準（令和6年9月1日理事会承認）

特別研究会採択の審査においては、なるべく多くの研究会を採択すべく予算を増額する余地がありうるが、応募された研究会のうちから上位のみを採択する必要がある場合には、公正を期すため、ポイント制を採用してポイント獲得上位から採択する。ポイント計算の始期は、当該特別研究会の採択・発足年の1月から3年遡った同月4日（例えば、令和7-8年度特別研究会の応募であれば、ポイント計算の始期は、令和4年1月4日となる）とし、終期を出願日とする。

「継続研究会」の場合（「新規研究会」として応募をされても、メンバー構成や

研究テーマ等から総合的に判断して「継続研究会」とみなす場合があります。）

- 学会未入会者を1人研究会メンバーにする毎に1ポイント。
- 学会未入会者だった方を1人学会員にする毎に5ポイント。
- 研究会メンバーが研究テーマに関連する論文を発表する（初稿ゲラ等ではなく、公表済みのものに限り）毎に5ポイント。
- 主催または共催に「公益事業学会」の名称が入った2時間以上のシンポジウムを開催する毎に20ポイント（YouTube等で一般に閲覧可能な状態にしている場合はさらに20ポイント）。
- 研究会に関連する書籍を刊行する（初稿ゲラ等ではなく、公表済みのものに限り）毎に20ポイント。

「新規研究会」の場合

- 学会未入会者を1人研究会メンバーにする毎に3ポイント。
- 研究会メンバーが研究テーマに関連する論文を発表する（初稿ゲラ等ではなく、公表済みのものに限り）毎に5ポイント。
- 主催または共催に「公益事業学会」の名称が入った2時間以上のシンポジウムを開催する毎に20ポイント（YouTube等で一般に閲覧可能な状態にしている場合はさらに20ポイント）。
- 研究会に関連する書籍を刊行する（初稿ゲラ等ではなく、公表済みのものに限り）毎に20ポイント。
- これまでどの特別研究会にも属さなかった学会員が、研究会代表者又は研究会幹事として応募された場合は、それぞれ5ポイント。

出願年度の初年に該当する年の6月の公益事業学会総会で予算が成立したのちに、2年

間分の助成金を採択研究会に一括交付する。ポイントを計算する前提として、企画委員会は、当該研究会のテーマが公益事業にかかわるものであることを十分に確認するものとする。

公益事業学会企画委員会